

省エネルギー

💡 節電の目的 💡

節電の大きな目的は、**地球温暖化を防ぐ**ことです。



日本で1番多く電気を作る発電方法は「火力発電」で全体の約60%を占めています。

火力発電は石油、石炭、天然ガスを燃やして発電しています。これらの化石燃料は、燃やしたときに地球温暖化の主な原因とされているCO2（二酸化炭素）を多く排出します。

つまり今現在、わたしたちが電気を使うということは、同時にCO2を排出しているということになってしまいます。

また、東日本大震災に端を発して、原子力発電所の運転がストップした所もあり、現在の日本の電気供給量は十分とはいえない状態です。

とくに夏場や冬場はエアコン等の使用により電気の使用量が増えるため、**停電のリスク**も高くなります。

消費電力量の多い電化製品にきちんと対応することにより、節電につとめましょう。

それは同時に、**電気料金の低減化**にもつながります。

💡 節電の方法 💡

まず、手始めに「待機電力を減らす」ことから行っていきましょう。

待機電力というのは、コンセントに接続された家電製品が、電源の切れている状態でも消費する電力のことです。

機器を使用した後はこまめに主電源を切るか、長期間使わない機器はプラグを抜く習慣をつけましょう。（※ただし、テレビやDVDレコーダーは主電源を抜くとかえって電気代がかかるので例外です）

毎回プラグを抜くのが面倒なら、「スイッチ付タップ」を使って、毎回タップのスイッチを切るようにすれば簡単です。

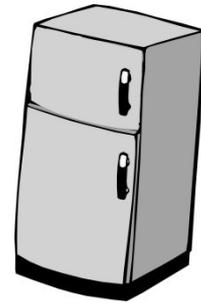
また、家庭で消費されている電気の約4割は、冷蔵庫・照明器具・テレビ・エアコンに使われています。



それぞれの機器において、具体的にどのような方法で節電ができるか見ていきましょう。

◇冷蔵庫

- ・物を詰め込みすぎないようにしましょう。
- ・熱いものはなるべく冷ましてから入れるようにします。
- ・無駄な開閉は控えて、開けている時間を短くするように心がけましょう。
- ・冷蔵庫は熱がこもらないように、壁から少し離して設置するようにしましょう。



◇照明器具

- ・白熱電球ではなく、LED 電球か電球型蛍光灯に取り替えたら、年間 2,000 円近く節電できます。とくに LED 電球は 10 年以上交換不要というメリットもあります。
- ・点灯時間を短くするように心がけましょう。

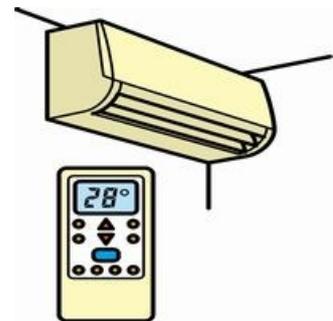
◇テレビ

- ・テレビを見ないときは消すようにします。
- ・省エネモードで見るなら、効果的に節電ができます。
- ・定期的に画面を拭き掃除すると、画面が明るくなるので、明るさ自動調節機能があるテレビなどでは消費電力を抑えることができます！



◇エアコン

- ・夏の冷房時の室温は **28℃** に設定しましょう。
- ・冬の暖房時の室温は **20℃** に設定しましょう。
- ・フィルターを月に 1 回か 2 回は清掃しましょう。
フィルターが目詰まりしているエアコンでは冷暖房の効果が下がり、無駄な電気を使います。
- ・室外機のまわりに物を置かないように注意しましょう。
室外機の吹出口に物を置くと、冷暖房の効果が下がります。



皆様も、今一度ご自身のライフスタイルを見直し、日ごろから省エネを心がけましょう。